

## 令和2年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 1

千葉県立千葉高等学校 全日制の課程 普通科

### 1 期待する生徒像

幅広く高い向学心を持ち、自主的精神とリーダー性に富む生徒で、次の全てを満たす生徒。

ア 基礎・基本を身につけ、思考力・応用力に優れていること。

イ 本校を特に強く志望すること。

### 2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 作文	字数：600字以上800字以内 検査時間：60分

### 3 評価項目及び評価基準

#### (1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

#### (2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値を、総合的に判定する際の参考とする。 ※（算式1） $X + \alpha - m$ X：当該志願者の調査書中の国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭及び外国語の評定の全学年の合計値 $\alpha$ ：県が定める評定合計の標準値9.5 $m$ ：中学校評定合計平均値 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3年間の欠席日数の合計が60日以上の場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が一つもない場合は、審議の対象とする。
エ 上記以外の記録、 特記事項及び総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

#### (3) 作文〔5点満点〕

2名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（満たしている）・b（満たしていない）の2段階で評価し、2名の評価者の評価の組合せ（a a～b b）ごとに得点化する。b bの組合せの場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 字数	指定された字数に対して過不足がない。
イ 内容	与えられたテーマに対して内容が適切である。

#### 4 選抜方法

##### (1) 選抜の方法

「学力検査の成績」及び「第2日の検査（作文）の得点」を合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

<総得点の満点の内訳>

学力検査の成績	第2日の検査の得点	総得点
	作文	
500点	5点	505点

##### (2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。

#### 5 その他

過年度卒業者については、第2日の検査終了後、別途個人面接を行う。